



ワークフロー管理タスクの管理

次のトピックでは、Cisco ANA Manage の [Workflow Engine] ブランチについて簡単に説明します。

- 「Cisco ANA Workflow Editor の概要」 (P.8-1)
- 「[Workflow Engine] ブランチ」 (P.8-1)
- 「新規ユーザがワークフローを実行できるようにする」 (P.8-2)

[Workflow Engine] ブランチのメニューおよびツールバーの詳細については、「[Workflow Engine] ブランチ」 (P.2-34) を参照してください。

Cisco ANA Workflow Editor の概要

Cisco ANA Manage の [Workflow Engine] ブランチでは、ワークフローに関する情報が提供されます。これらの情報はゲートウェイ サーバに保存されています。これらのワークフローは、ユーザが Cisco ANA Workflow Editor GUI を使用してワークフローを作成した後に保存されます。詳細については、『Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 Customization User Guide』を参照してください。

ワークフローは、複雑なロールバック シナリオなど、アトミック タスク（アクティベーション コマンド）の論理フローです。このロジックを使用して、タスク間の関係、タスクのシーケンス、ほかのタスクに分岐するタイミング、タスクが失敗した場合の処理を定義できます。

ワークフローが配置されると、その状態に関する情報を表示できます。すべてのワークフローは、Cisco ANA ゲートウェイに保存されます。Workflow Editor エンジンには、AVM 66 を使用する Cisco ANA ゲートウェイにあります。



(注)

ワークフローを使用するには、AVM 66 が起動しており、関連するライセンスがインストールされていることが必要です。

配置されたワークフローは、BQL を使用する Cisco ANA API によって起動できます。

[Workflow Engine] ブランチ

Cisco ANA Manage の [Workflow Engine] ブランチを使用して、実行中のワークフロー テンプレートとオペレーティング ワークフローを管理します。



(注)

[Workflow Engine] ブランチは、関連するライセンスがインストールされている場合にだけ、イネーブルになります。

[Workflow Engine] ブランチには、次のようなサブブランチがあります。

- [Templates] : 配置されているワークフロー テンプレートのリストが表示されます。また、ワークフロー テンプレートのプロパティを表示することもできます。

- [Workflows] : 実行中または実行完了したワークフローのリストが表示されます。また、現在のステータスを表示したり変更したりすることもできます。

[Workflow Engine] ブランチの機能の詳細については、『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 Customization User Guide](#)』を参照してください。

新規ユーザがワークフローを実行できるようにする

新規ユーザがワークフローを実行できるようにするには、レジストリを変更します。レジストリを変更する場合には、Cisco Professional Services にご連絡ください。